

平成 30 年度茨城県計画に関する 事後評価

令和 4 年 1 1 月
茨城県

1. 事後評価のプロセス

(1) 「事後評価の方法」の実行の有無

※H30 計画で定めた事後評価の方法

<医療分>

『計画の事後評価に当たっては、「茨城県医療審議会」、及び二次医療圏ごとに保健・医療・福祉関係者、行政関係者、住民代表で組織している「保健医療福祉協議会」等の意見を聞きながら評価を行い、必要に応じて見直しを行うなどにより、計画を推進していきます。』

<介護分>

『年度ごとに開催される、いばらき高齢者プラン21推進委員会において意見を聞きながら評価を行う。』

行った

(実施状況)

○平成30年度実施状況

- ・令和元年5月22日 いばらき高齢者プラン21推進委員会において議論
- ・令和元年7月30日 2019年度第2回茨城県医療審議会（茨城県地域医療構想調整会議）において議論

○令和元年度実施状況

- ・令和2年8月5日 2020年度第1回茨城県医療審議会（茨城県地域医療構想調整会議および同保健医療計画部会合同）において議論
- ・令和2年度いばらき高齢者プラン21推進委員会（書面開催）

○令和2年度実施状況

- ・令和3年度いばらき高齢者プラン21推進委員会

○令和3年度実施状況

- ・令和4年度いばらき高齢者プラン21推進委員会

行わなかった

(行わなかった場合、その理由)

○令和2年度（医療分）

- ・平成30年度計画を活用して実施した事業がないため

○令和3年度（医療分）

- ・平成30年度計画を活用して実施した事業がないため

(2) 審議会等で指摘された主な内容

審議会等で指摘された主な内容

- ・外国人介護人材の確保のための支援の在り方について、考えていく必要がある。
- ・シニア世代がホームヘルパーとして働けるような体制づくりが必要。
(令和元年5月22日いばらき高齢者プラン21推進委員会意見)
- ・基金の配分を公的病院に偏らないようにされたい。
(令和元年7月30日2019年度第2回茨城県医療審議会(茨城県地域医療構
想調整会議)意見)
- ・指摘事項なし(令和2年8月5日2020年度第1回茨城県医療審議会(茨城県
地域医療構想調整会議)意見)
- ・介護職員数の目標達成のために何か手段はあるのか。
- ・認知症サポート医人数、歯科医師認知症対応力向上研修受講者数及び薬剤師認知
症対応力向上研修受講者数について、目標値に近づけるために新たにどのような
働きかけを行うのか。(令和2年度いばらき高齢者プラン21推進委員会意見)
- ・訪問介護員の人員不足や高齢化が深刻なので、対応を検討してほしい。
- ・介護職に関する情報提供やPRのため、オンラインの活用や啓発パンフレットの内
容等を検討してほしい。(令和3年度いばらき高齢者プラン21推進委員会意見)
- ・高齢化が進み、医療従事者の認知症高齢者への対応は不可避となっている。研修
の継続と、オンライン研修の信頼性や質を担保できる仕組みづくりが課題。
- ・介護職員腰痛予防研修について、職員の転倒予防やうつ病予防など、腰痛予防に
限らず実施を検討してほしい。
(令和4年度いばらき高齢者プラン21推進委員会意見)

2. 目標の達成状況

■茨城県全体（目標と計画期間）

1. 目標

茨城県においては、病床の機能分化・連携の促進、医療と介護の連携体制や地域リハビリテーション提供体制の強化、医療・介護従事者不足、介護施設等の整備促進などの医療介護総合確保区域の課題を解決し、高齢者が地域において、安心して生活できるよう以下を目標に設定する。

① 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する目標

- ・がん診療連携拠点病院等の整備促進 4病院 (H30)
- ・75歳未満のがんによる年齢調整死亡率（人口10万人対）の減少 83.1 (H27) → 76.1 (R3)
- ・補助事業者数（小児） 拠点：5、輪番制：3 (H30)
- ・産科医療機関への補助施設数 39施設／年 (H30)

② 居宅等における医療の提供に関する目標

- ・訪問看護ステーション数（人口10万人当たり） 5.2カ所 (H27) → 7.9カ所 (R1)
- ・訪問看護師養成及び在宅医療人材確保の研修の延受講者数 1,500人 (H30)
- ・特定行為研修を修了した看護師数 13人 (H29.6) → 300人 (R5)
- ・看護師の特定行為研修制度に関する説明会の開催 1回 (H30)
- ・がん患者の在宅死亡割合 10.4% (H27) → 12.0% (H30)
- ・「みんなのがん相談室」の相談件数 年間相談件数 350件 (H30)
- ・心身障害者（児） 歯科診療所である口腔センター土浦患者数（心身障害者（児））の増加
3,401人 (H28) → 3,740人 (R2)
- ・心身障害者（児） 歯科診療に必要な設備整備への補助 1施設 (H30)
- ・看取り数 77.5人 (H29) → 81.7人 (R1)
- ・在宅医療提供グループ構築数 12か所 (H29) → 36か所 (R1)
- ・在宅において薬剤師による適切な服薬管理を受ける患者数の増加
8,919件 (H29.12) → 9,180件 (H31.3)
- ・在宅医療参画薬局数 410薬局 (H29.12) → 422薬局 (H31.3)
- ・小児対応訪問看護ステーションにおける機能強化型訪問看護ステーションの割合
12.5% (H29) → 14.8% (H30)

③ 介護施設等の整備に関する目標

（地域包括ケアシステムの構築に向けて、高齢者プラン21において記載されている目標を達成するため、地域密着型サービス施設等の整備を行う。）

- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 15か所 → 20か所
- ・定期巡回随時対応型介護看護事業所 13か所 → 15か所
- ・地域密着型特別養護老人ホーム 1,247床 → 1,305床

・特別養護老人ホーム	16,359床 → 17,059床
・介護老人保健施設	11,718床 → 11,878床
・介護付き有料老人ホーム	3,795床 → 4,024床
・認知症高齢者グループホーム	5,042床 → 5,273床

④ 医療従事者の確保に関する目標

- ・県内医師数 5,513人(H28.12) → 6,400人(R5)
- ・本県高校出身の医学部進学者 151人(H29) → 増(H30)
- ・初期臨床研修医の県内臨床研修病院へのマッチング者数の増 162人(H29) → 166人(H30)
- ・医師修学資金制度貸与者の県内定着率 76.3%(H29.12) → 90%(R5)
- ・地域医療支援センターウェブサイトアクセス数 7,845件(H29) → 10,000件(H30)
- ・看護師等修学資金制度貸与者の看護職員不足地域就業率 100%(H30)
- ・看護職員数 26,713人(H28.12) → 30,044人(R5)
- ・新人看護職員研修事業の補助 52施設(H30)
- ・チーム医療推進に資する研修 5日以上(H30)
- ・看護教育に係る専任教員養成講習会の受講者数 30名(H30)
- ・病院内保育所の運営に対する補助対象箇所数 56医療機関(H30)
- ・障害児施設の中核施設における1月あたりの外来診療件数の増 2,500件(H29)→2,700件(R1)

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

(高齢者プラン21に記載されている目標)

- ・介護職員数 42,001人 → 47,012人
- ・歯科医師認知症対応力向上研修受講者数 504人 → 700人
- ・薬剤師認知症対応力向上研修受講者数 1,016人 → 1,300人

2. 計画期間

平成30年度～令和8年度

□茨城県全体（達成状況）【継続中（令和3年度の状況）】

1) 目標の達成状況

① 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する目標

- ・回復期病床の増床 0床(R3年度末)

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 15か所(R3年度末)
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 13か所(R3年度末)
- ・地域密着型特別養護老人ホーム 1,227床 48か所(R3年度末)
- ・特別養護老人ホーム 16,309床 234か所(R3年度末)
- ・介護老人保健施設 11,698床 130か所(R3年度末)

- ・介護付き有料老人ホーム 3,731床 67か所 (R3年度末)
- ・認知症高齢者グループホーム 5,118床 298か所 (R3年度末)

2) 見解

- ・地域密着型サービス施設等の整備については、市町村を通じ、事業者に対し開設・整備について働きかけを行ったが、事業者からの整備要望が少なく、目標の達成には至らなかった。
- ・目標値が未達成の項目についても、一定の前進はみられており、茨城型地域包括ケアシステムの構築が一定程度進んだものと認識。

3) 改善の方向性

- ・未達成の項目についても、新たな取組の実施や効率化を図り、目標達成に向けて引き続き事業を推進していく。

4) 目標の継続状況

- 令和4年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和4年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■水戸保健医療圏(高齢者福祉圏)

1. 目標

※区域に特化した取組みに係る目標についてのみ下記に記載。

① 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する目標

- ・脳梗塞患者に対するt-PA実施件数の増 393件(4.5%)(H28)→472件(5.4%)(H30)

④ 医療従事者の確保に関する目標

- ・看護専門学校の校舎・宿舎への設備の設置・補修に対する補助 1か所(H30)

※上記以外の取組みに係る目標については、茨城県全体の目標と同じ。

2. 計画期間

平成30年度～令和8年度(茨城県全体の計画期間と同じ)

□水戸保健医療圏(高齢者福祉圏)(達成状況)【継続中(令和3年度の状況)】

※区域に特化した取組みをしていないことから、達成状況については、茨城県全体と同じ。

■日立保健医療圏（高齢者福祉圏）

1. 目標

※区域に特化した取組みに係る目標についてのみ下記に記載。

① 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する目標

- ・脳梗塞患者に対する t-P A 実施件数の増 393 件 (4.5%) (H28) →472 件 (5.4%) (H30)

※上記以外の取組みに係る目標については、茨城県全体の目標と同じ。

2. 計画期間

平成 30 年度～令和 8 年度（茨城県全体の計画期間と同じ）

□日立保健医療圏（高齢者福祉圏）（達成状況）【継続中（令和 3 年度の状況）】

※区域に特化した取組みをしていないことから、達成状況については、茨城県全体と同じ。

■常陸太田・ひたちなか保健医療圏（高齢者福祉圏）

1. 目標

※区域に特化した取組みに係る目標についてのみ下記に記載。

① 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する目標

- ・脳梗塞患者に対する t-P A 実施件数の増 393 件 (4.5%) (H28) →472 件 (5.4%) (H30)

④ 医療従事者の確保に関する目標

- ・再就業試用研修費等の補助 1 施設
- ・再就業支援試用研修 1 か月間 受講者 8 名以上

※上記以外の取組みに係る目標については、茨城県全体の目標と同じ。

2. 計画期間

平成 30 年度～令和 8 年度（茨城県全体の計画期間と同じ）

□常陸太田・ひたちなか保健医療圏（高齢者福祉圏）（達成状況）【継続中（令和 3 年度の状況）】

※区域に特化した取組みをしていないことから、達成状況については、茨城県全体と同じ。

■鹿行保健医療圏（高齢者福祉圏）

1. 目標

※区域に特化した取組みに係る目標についてのみ下記に記載。

① 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する目標

- ・がん診療連携拠点病院等の整備促進 2 病院 (H30)
- ・脳梗塞患者に対する t-P A 実施件数の増 393 件 (4.5%) (H28) →472 件 (5.4%) (H30)
- ・再編補助対象医療機関数 2 病院
- ・病床の必要量と比較し不足するとされている回復期病床の増 60 床

※上記以外の取組みに係る目標については、茨城県全体の目標と同じ。

<p>2. 計画期間 平成 30 年度～令和 8 年度（茨城県全体の計画期間と同じ）</p>
<p>□鹿行保健医療圏（高齢者福祉圏）（達成状況）【継続中（令和 3 年度の状況）】 ※区域に特化した取組みをしていないことから、達成状況については、茨城県全体と同じ。</p>
<p>■土浦保健医療圏（高齢者福祉圏）</p> <p>1. 目標 ※区域に特化した取組みに係る目標についてのみ下記に記載。</p> <p>① 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する目標 ・脳梗塞患者に対する t-P A 実施件数の増 393 件 (4.5%) (H28) →472 件 (5.4%) (H30) ※上記以外の取組みに係る目標については、茨城県全体の目標と同じ。</p> <p>2. 計画期間 平成 30 年度～令和 8 年度（茨城県全体の計画期間と同じ）</p>
<p>□土浦保健医療圏（高齢者福祉圏）（達成状況）【継続中（令和 3 年度の状況）】 ※区域に特化した取組みをしていないことから、達成状況については、茨城県全体と同じ。</p>
<p>■つくば保健医療圏（高齢者福祉圏）</p> <p>1. 目標 ※区域に特化した取組みに係る目標についてのみ下記に記載。</p> <p>① 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する目標 ・脳梗塞患者に対する t-P A 実施件数の増 393 件 (4.5%) (H28) →472 件 (5.4%) (H30)</p> <p>④ 医療従事者の確保に関する目標 ・再就業試用研修費等の補助 1 施設 ・再就業支援試用研修 1 か月間 受講者 8 名以上 ・看護専門学校の校舎・宿舍への設備の設置・補修に対する補助 1 か所 (H30) ※上記以外の取組みに係る目標については、茨城県全体の目標と同じ。</p> <p>2. 計画期間 平成 30 年度～令和 8 年度（茨城県全体の計画期間と同じ）</p>

<p>□つくば保健医療圏（高齢者福祉圏）（達成状況）【継続中（令和3年度の状況）】</p> <p>※区域に特化した取組みをしていないことから、達成状況については、茨城県全体と同じ。</p>
<p>■取手・竜ヶ崎保健医療圏（高齢者福祉圏）</p> <p>1. 目標</p> <p>※区域に特化した取組みに係る目標についてのみ下記に記載。</p> <p>④ 医療従事者の確保に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再就業試用研修費等の補助 1施設 ・再就業支援試用研修 1か月間 受講者8名以上 <p>※上記以外の取組みに係る目標については、茨城県全体の目標と同じ。</p> <p>2. 計画期間</p> <p>平成30年度～令和8年度（茨城県全体の計画期間と同じ）</p>
<p>□取手・竜ヶ崎保健医療圏（高齢者福祉圏）（達成状況）【継続中（令和3年度の状況）】</p> <p>※区域に特化した取組みをしていないことから、達成状況については、茨城県全体と同じ。</p>
<p>■筑西・下妻保健医療圏（高齢者福祉圏）</p> <p>1. 目標</p> <p>※区域に特化した取組みに係る目標についてのみ下記に記載。</p> <p>① 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院等の整備促進 2病院（H30） ・脳梗塞患者に対するt-PA実施件数の増 393件（4.5%）（H28）→472件（5.4%）（H30） <p>④ 医療従事者の確保に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護専門学校の校舎・宿舍への設備の設置・補修に対する補助 1か所（H30） <p>※上記以外の取組みに係る目標については、茨城県全体の目標と同じ。</p> <p>2. 計画期間</p> <p>平成30年度～令和8年度（茨城県全体の計画期間と同じ）</p>
<p>■筑西・下妻保健医療圏（高齢者福祉圏）（達成状況）【継続中（令和3年度の状況）】</p> <p>※区域に特化した取組みをしていないことから、達成状況については、茨城県全体と同じ。</p>
<p>■古河・坂東保健医療圏（高齢者福祉圏）</p>

1. 目標

※区域に特化した取組みに係る目標についてのみ下記に記載。

① 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する目標

・脳梗塞患者に対する t-P A 実施件数の増 393 件 (4.5%) (H28) →472 件 (5.4%) (H30)

④ 医療従事者の確保に関する目標

・再就業試用研修費等の補助 1 施設

・再就業支援試用研修 1 か月間 受講者 8 名以上

※上記以外の取組みに係る目標については、茨城県全体の目標と同じ。

2. 計画期間

平成 30 年度～令和 8 年度（茨城県全体の計画期間と同じ）

■古河・坂東保健医療圏（高齢者福祉圏）【継続中（令和 3 年度の状況）】

※区域に特化した取組みをしていないことから、達成状況については、茨城県全体と同じ。

3. 事業の実施状況

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No.1-3 (医療分)】 地域医療提供体制再構築支援事業	【総事業費】 0 千円
事業の対象となる区域	鹿行保健医療圏	
事業の実施主体	茨城県 (医療機関 (神栖済生会病院))	
事業の期間	平成 30 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>・医師不足により診療体制が脆弱となり、厳しい経営状況にある神栖済生会病院と鹿島労災病院について、再編統合により医療資源を集約し、大学が医師を派遣しやすい環境を整備し、救急医療をはじめとする医療提供体制の強化を図る必要がある。</p> <p>アウトカム指標： 病床の必要量と比較し不足するとされている回復期病床の増 (60 床)</p>	
事業の内容 (当初計画)	・神栖済生会病院と鹿島労災病院の再編統合 (施設整備費) に対して補助。	
アウトプット指標 (当初の目標値)	・補助対象医療機関数：2 病院	
アウトプット指標 (達成値)	・補助対象医療機関数：2 病院	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：0 床 (R9 を目途に、病床増に向け整備を促進)</p> <p>(1) 事業の有効性 神栖済生会病院の整形外科診察室や駐車場の整備などを行うとともに、鹿島労災病院の跡地に、神栖済生会病院の分院として、内科、外科、整形外科等の診察を行う有床診療所 (10 床) を整備し、令和元年 7 月に開院した。これらにより、神栖済生会病院と鹿島労災病院の再編統合を進めることができた。</p> <p>今後も、鹿行南部地域の医療提供体制の充実を図るため、神栖済生会病院の新病院整備に係る実施設計や建設等に対して必要な支援を行っていく。</p> <p>(2) 事業の効率性 両病院の再編統合は、医療資源の集約化と経営基盤の強化を図るものであり、引き続き、住民が安心して医療を受けられる体制を目指していく。</p>	
その他		

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業																			
事業名	【No. 3-1 (介護分)】 地域密着型老人福祉施設整備推進事業 老人福祉施設開設準備経費助成事業	【総事業費】 1,372 千円																		
事業の対象となる区域	県内全高齢者福祉圏																			
事業の実施主体	茨城県																			
事業の期間	平成 30 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了																			
背景にある医療・介護ニーズ	<p>高齢化が進展する中、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で日常生活を継続的に営めるよう、地域の特性に応じた、多様で柔軟なサービスの提供が可能な介護サービス拠点等の基盤整備を図る。</p> <p>アウトカム指標：地域密着型サービス施設等の定員総数及び施設数を増加させる。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">R3 末</td> <td style="text-align: center;">R5 末</td> </tr> <tr> <td>・地域密着型介護老人福祉施設 (1, 247 床→1, 305 床)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・認知症高齢者グループホーム (5, 042 床→5, 273 床)</td> <td></td> </tr> </table>		R3 末	R5 末	・地域密着型介護老人福祉施設 (1, 247 床→1, 305 床)		・認知症高齢者グループホーム (5, 042 床→5, 273 床)													
R3 末	R5 末																			
・地域密着型介護老人福祉施設 (1, 247 床→1, 305 床)																				
・認知症高齢者グループホーム (5, 042 床→5, 273 床)																				
事業の内容 (当初計画)	<p>①介護サービスの改善を図るための既存施設等の改修に対して支援を行う</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">整備予定施設等</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小規模多機能型居宅介護事業</td> <td style="text-align: center;">床 (1 か所)</td> </tr> </table>		整備予定施設等		小規模多機能型居宅介護事業	床 (1 か所)														
整備予定施設等																				
小規模多機能型居宅介護事業	床 (1 か所)																			
アウトプット指標 (当初の目標値)	<p>地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域密着型サービス施設等の整備・開設等を支援することにより、下記目標に向けて地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進する。</p> <p>【いばらき高齢者プラン 21 計画期間：令和 3 年度～令和 5 年度】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">R3 末</td> <td style="text-align: center;">R5 末</td> </tr> <tr> <td>・地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td style="text-align: center;">1, 247 床</td> <td style="text-align: center;">→ 1, 305 床</td> </tr> <tr> <td>・特別養護老人ホーム</td> <td style="text-align: center;">16, 359 床</td> <td style="text-align: center;">→ 17, 059 床</td> </tr> <tr> <td>・介護老人保健施設</td> <td style="text-align: center;">11, 718 床</td> <td style="text-align: center;">→ 11, 878 床</td> </tr> <tr> <td>・介護付き有料老人ホーム</td> <td style="text-align: center;">3, 795 床</td> <td style="text-align: center;">→ 4, 024 床</td> </tr> <tr> <td>・認知症高齢者グループホーム</td> <td style="text-align: center;">5, 042 床</td> <td style="text-align: center;">→ 5, 273 床</td> </tr> </table>			R3 末	R5 末	・地域密着型特別養護老人ホーム	1, 247 床	→ 1, 305 床	・特別養護老人ホーム	16, 359 床	→ 17, 059 床	・介護老人保健施設	11, 718 床	→ 11, 878 床	・介護付き有料老人ホーム	3, 795 床	→ 4, 024 床	・認知症高齢者グループホーム	5, 042 床	→ 5, 273 床
	R3 末	R5 末																		
・地域密着型特別養護老人ホーム	1, 247 床	→ 1, 305 床																		
・特別養護老人ホーム	16, 359 床	→ 17, 059 床																		
・介護老人保健施設	11, 718 床	→ 11, 878 床																		
・介護付き有料老人ホーム	3, 795 床	→ 4, 024 床																		
・認知症高齢者グループホーム	5, 042 床	→ 5, 273 床																		
アウトプット指標 (達成値)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>・地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td style="text-align: center;">1, 247 床</td> <td style="text-align: center;">48 か所</td> <td style="text-align: center;">(R3 年度末)</td> </tr> <tr> <td>・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所</td> <td style="text-align: center;">13 か所</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(R3 年度末)</td> </tr> <tr> <td>・特別養護老人ホーム</td> <td style="text-align: center;">16, 309 床</td> <td style="text-align: center;">234 か所</td> <td style="text-align: center;">(R3 年度末)</td> </tr> <tr> <td>・介護老人保健施設</td> <td style="text-align: center;">11, 698 床</td> <td style="text-align: center;">130 か所</td> <td style="text-align: center;">(R3 年度末)</td> </tr> </table>		・地域密着型特別養護老人ホーム	1, 247 床	48 か所	(R3 年度末)	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	13 か所		(R3 年度末)	・特別養護老人ホーム	16, 309 床	234 か所	(R3 年度末)	・介護老人保健施設	11, 698 床	130 か所	(R3 年度末)		
・地域密着型特別養護老人ホーム	1, 247 床	48 か所	(R3 年度末)																	
・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	13 か所		(R3 年度末)																	
・特別養護老人ホーム	16, 309 床	234 か所	(R3 年度末)																	
・介護老人保健施設	11, 698 床	130 か所	(R3 年度末)																	

	<ul style="list-style-type: none"> ・介護医療院 208床 5か所 (R3年度末) ・介護付き有料老人ホーム 3,731床 67か所 (R3年度末) ・認知症高齢者グループホーム 5,118床 298か所 (R3年度末) ・小規模多機能型居宅介護事業所 79か所 (R3年度末) ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 15か所 (R3年度末)
事業の有効性・ 効率性	<p>(1) 事業の有効性 特定の地域、施設に偏ることなく、全県的に多様な施設が整備されており、地域包括ケアシステム構築に向けた整備が進んでいる。</p> <p>(2) 事業の効率性 市町村が募集しても事業者からの応募がなく、また、事業の繰り越し等により目標整備数を達成しないものもあるが、地域密着型特別養護老人ホームは目標を達成しているなど、着実に整備数が積み上がっており、効率的な整備を進めているといえる。</p>
その他	・R4年度への繰越額：0千円